



報道機関各位

熊本大学企画部企画課広報室

熊本大学GPフォーラム を開催します。

熊本大学では、このたび、本学で実施している教育GP()等の成果報告を兼ねたフォーラムを下記のとおり開催いたします。

本学では、優れた教育研究プログラムにより、特色ある質の高い教育・研究を進めており、文部科学省の各種教育プログラム等に、平成15年度から22件のプログラムが採択されています。現在、全学及び関係部局において各プログラムに取り組んでいます。今回開催するフォーラムでは、新たに採択された3件の教育プログラムの成果報告と併せて、今後の在り方や展望について参加者の方々も一緒になって考えていただく場を目指しています。

つきましては、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしくお願いたします。

GPとは文部科学省によりサポートされている Good Practice (優れた取組) のことです。

記

『熊本大学GPフォーラム』

【日 時】平成20年3月18日(火) 13:30~16:20

【場 所】熊本大学工学部百周年記念館(黒髪南地区キャンパス)

【プログラム】詳細については別紙を参照願います。

13:30~ 開会挨拶 崎元 達郎(熊本大学長)

13:40~ 基調講演「大学教育改革の現状及び今後の方向性について」(仮題)
三浦 和幸氏(文部科学省高等教育局大学振興課課長補佐)

14:40~ 「学習と社会に扉を開く全学共通情報基礎教育」<特色GP>
宇佐川 毅(総合情報基盤センター長)

15:10~ 「異分野融合能力をもつ未来開拓型人材育成」<イニシアティブ>
松本 泰道(大学院自然科学研究科長)

15:40~ 「エイズ制圧をめざした研究者養成プログラム」<イニシアティブ>
滝口 雅文(エイズ学研究センター長)

16:10~ 閉会挨拶 西山 忠男(理事・副学長)

【参加対象】教育関係者、大学生、高校生、一般の方

参加費は無料ですが、参加人数把握のため参加ご希望の方は、事前に下記の問い合わせ先にご連絡ください。

熊本大学ホームページに詳細を掲載しています。 <http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

~お問い合わせ~

学務部教務課専門教育担当

TEL: 096-342-2716

E-Mail: gak-senmon@jimu.kumamoto-u.ac.jp

. 工学部『大学教育の質保証と評価に関するフォーラム』
「大学教育における組織的な質保証の実現にむけて」
- 学生と教員の相互啓発が作り上げる独自の教育質保証システムとは? -

平成18年度に特色GPに採択された「工学教育から発信する大学教育の質保証」は、熊本大学における組織的な教育の改善を図り、本学の教育目的である国際的に通用する教育水準が保証された人材要請に資するため、工学部を主体とする教育の質保証を組織的にかつ累積的に向上させるシステムを確立させることを目的としています。

具体的には、シラバスに記述された科目の目標に対して、学生の理解度・達成度を確認しながら、成績評価結果と授業改善アンケート結果について、教員ごとにWeb環境を使用してコメントを学生にフィードバックする双方向システムを一層充実する必要があります。工学部における取組の充実・発展を図り、本取組を全学的取組として拡充することにより、本学の教育目的である国際的に通用する教育水準が保証された人材養成の教育を図ります。

【日 時】平成20年3月10日(月) 13:00～16:35

【場 所】熊本大学工学部百周年記念館(黒髪南地区)

【プログラム】

13:00～ 開会挨拶 谷口 功(工学部長)

13:10～ 特別講演「大学評価時代の教育評価のあり方」
新たな学問学習共同体の形成に向けて
大塚 雄作氏(京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

14:30～ 休憩

14:50～ 「工学教育から発信する大学教育の質保証」<特色GP>事業成果報告

- ・学生の学力診断支援システムの開発の報告
- ・英語D対応の技術英語習熟システムの開発の報告
- ・成績の評価手法や評価項目の内容に関する開発の報告
- ・授業の理解度・授業改善アンケートの改善と試行システム構築の報告

16:00～ 成果報告に対する質疑

16:30～ 閉会挨拶 山尾 敏孝(大学院自然科学研究科教授)

【参加対象】小中高の一般教員・高等専門学校・大学教員等学校関係者

参加費は無料です。

所属、職種、御氏名を下記担当まで、E-MailまたはFAXでお申し込みください。

～お申込み・お問い合わせ～

工学部文書管理システム室 汐月・葉山

TEL: 096-342-3550 / E-Mail: ichiko-s@gpo.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学大学院自然科学研究科(学科:工学部社会環境工学科)教授 山尾敏孝

TEL: 096-342-3533 / FAX: 096-342-3507

E-Mail: tyamao@kumamoto-u.ac.jp

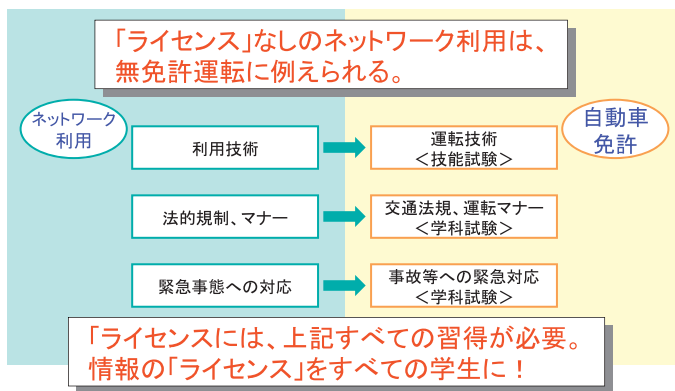
〈平成 16 年度特色ある大学教育支援プログラム採択〉

学習と社会に扉を開く全学共通情報基礎教育

発表：宇佐川 毅 教授

平成 16 年度特色ある大学教育支援プログラムで選定された「学習と社会に扉を開く全学共通情報基礎教育」は、熊本大学における全学必修科目としての情報基礎教育実施に関する取組です。本取組は、情報分野における基礎的な知識と技能を教授する情報基礎教育を、大学での学習活動が成果をあげるために、また大学卒業後のネットワーク社会で活躍するために不可欠な基本ライセンスと捉え、ネットワークの基本的な利用技術、ネットワーク利用上の法的規制に関する知識、ウィルスなどセキュリティに関連する事態への対応方法について総合的に教育するものです。本学では、このような内容を一年次の段階で全ての学生に保証することを目標とし、高等教育機関としての十分に高い教育水準を設定した上で、この水準に受講者が到達するまでの教育と評価とを相互に連係させ、独自の教材・ソフトの開発を踏まえ、専任集団の緊密な連携の下で、この目標を実現しています。

学習と社会に扉を開く全学共通情報基礎教育 情報リテラシー教育の基本姿勢



〈平成 18 年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ採択〉

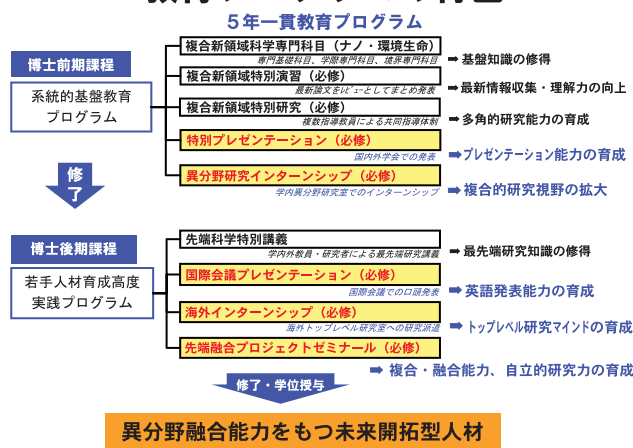
異分野融合能力をもつ未来開拓型人材育成

発表：松本 泰道 教授

自然科学研究科は、複合・融合・国際的視野を持つ創造性豊かな人材の育成を目的としており、また国際的に魅力ある大学院を目指しています。

本プログラムでは、複合新領域科学専攻の複合ナノ創成科学講座と生命環境科学講座が母体の講座となり、異分野の研究を融合させる能力を育成するため特別なプログラムを用意し、未来を切り拓く研究者を育成します。なかでも「組み合わせトレーニング」では学生が自らの研究と異分野の研究を各要素に分解し、それらを組み合わせる新しい研究テーマを作り上げていきます。そのほか、海外トップレベル研究室へ研究派遣する「海外インターンシップ」、学内外への「異分野研究インターンシップ」派遣など、「先端融合プロジェクトゼミナール」を核としながら一貫したプログラムにより未来科学技術を創成できる人材を育成しています。

教育プログラムの特色



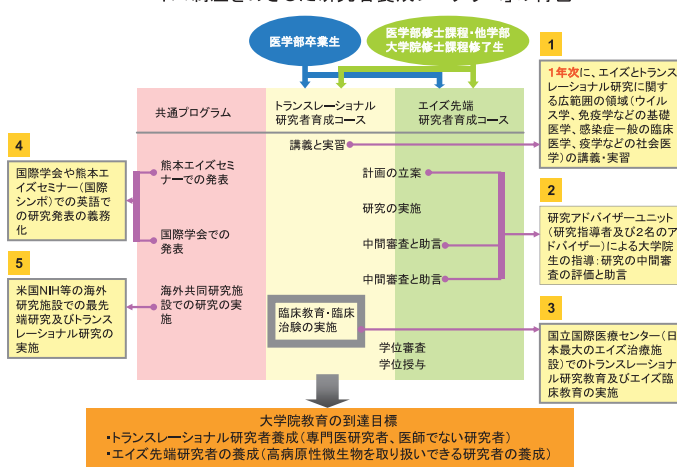
〈平成 18 年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ採択〉

エイズ制圧をめざした研究者養成プログラム

発表：滝口 雅文 教授

生存している HIV-1 (エイズウイルス) 感染者数は世界中で 4,000 万人を超え、エイズで 300 万人以上の人々が毎年死亡しています。日本は先進国の中で唯一感染者が増加している国であり、感染者は 1 万人を超え、感染の急速な増大が危惧されています。このような状況下でエイズを制圧するための研究者養成が急務となっており、エイズ研究で実績がある熊本大学では、世界を舞台に活躍するエイズ制圧を目指した研究者を養成するためのプログラムを立ち上げました。体系的にエイズ研究者を養成する大学院プログラムは他に例を見ない特色あるものです。このプログラムでは国内外から大学院学生を受け入れ、エイズに関する組織的な大学院教育を実施し、トランスレーショナル研究を推進する能力を有した研究者・エイズ専門医の養成、さらに HIV-1 などの高病原性微生物を取り扱う能力を備えた研究者の養成を行います。

「エイズ制圧をめざした研究者養成プログラム」の特色



●参加申込み方法

参加希望の方は、次の申込先までご連絡をお願いいたします。(参加人数の把握のため、事前にお申込みください。)

●参加申込み・問い合わせ先

熊本大学学務部教務課専門教育担当
TEL:096-342-2716 FAX:096-342-2710
E-mail:gak-senmon@jim.kumamoto-u.ac.jp